

お家時間が長い今  
考えてみませんか



AFP(日本FP協会認定  
ファイナンシャルプランナー)  
飯田 将史さん

法人を中心に多くの顧客を抱えるお金のプロ。  
プライベートでは誕生したばかりの子どもの  
ために学資保険を検討するよきお父さん。

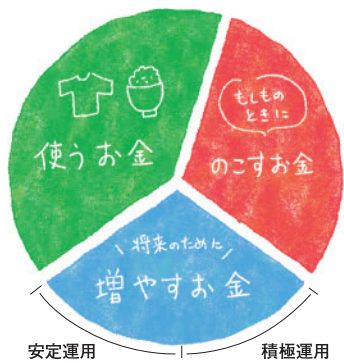
# お金との 上手なおつきあい

「収入はあるのにゆとりを感じられない」、「将来に備えたい」などお金にまつわる  
悩みや不安はつきもの。お家ですぐす時間がたっぷりある今だからこそ、自分や  
家族に合ったお金とのいい関係を考えてみましょう。

## 基本編

まずはわが家の現状を確認！  
その上で、目的ごとにお金を分ける。

お金とのいい関係は、わが家の可処分  
所得※を明確にし、今を正しく理解  
することから始まります。まず目的  
ごとにお金を3つに分けます。日々の  
生活のために必要な「使うお金」は、  
普通預金など出し入れしやすい口座で  
管理するのがおすすめ。万が一に備える  
「のこすお金」は、生命保険がその代表  
例ですが、家族状況やリスクに対する  
考え方によって最適な形が異なるため、  
ライフステージごとに見直すのが理想で  
す。「増やすお金」は、近い将来を見据え  
減らさないことを前提とした「安定運  
用」とリタイア後を目標にじっくり資産  
を築く「積極運用」のふたつに分けて  
おくリスクを分散できます。



- 緑色…日々の生活で「使うお金」
- 赤色…もしもの時に「のこすお金」
- 青色…将来のために「増やすお金」

### ※可処分所得とは

給与やボーナスといった個人所得から税金や社会保険料など義務付けられている支払いをのぞいたもので、自分の意思で自由に使えるお金のこと。

## 1. バランスを見直してムダをなくす!

お金の色分けをすると、必然的にわが家の家計バランスが見えてきます。大きな割合を占める項目については内容をチェックしてスリム化し、可処分所得の10~20%を「増やすお金」として将来の資産形成に充てられる環境を目指しましょう。



## 2.

### 働くお金をつかって将来に備える!

現代は、超が付くほどの低金利社会。金融機関に預けるだけで資産を増やすことは難しい環境です。そこで、「増やすお金」の一部を積極的に運用し、お金の働いてもらうことで資産形成を行います。最初は少額でもOK。お金がお金を生む仕組みをつくるのが重要です。



# 実践編

ムダをなくしてお金を活かす  
攻守両面の視野を持って。

収入をうまく活用しながら

日々を楽しくすこし、豊かな人生を送りたいと思うのは皆同じ。だからこそ、ムダな支出はなくしたいものです。食費など流動性の高い項目や住宅などのローン費用は難しくても、保険など毎月当たり前のように支払っている固定費は一度見直してみる価値あり。人生の節目はお金の節目。時々で最適な使い方と使い道を判断しましょう。

お金とのいい関係はこまめなケアが大切なのです。

ムダを省く！

## 1. 加入している保険を見直す

意外と内容を精査する機会が少ない保険。保障内容が重複していたり家族の状況に合っていない特約を付けていることも多いようです。結婚、出産、マイホーム取得など家族の状況が変わることに見直せばムダがありません。



## 2. お金を活かす！

### 税の優遇がある投資制度を活用

iDeCoやNISAといった税の優遇を受けられる積立投資は、今すぐ活用したいお得な制度。例えば、私的に年金を積立てる制度であるiDeCoは、60歳まで年額14万4000円(公務員の場合)の掛金が全額所得控除に。



# 備え編

相続が“争族”にならないために大切な人に想いを伝えておこう。

## 1. 生前贈与をする

資産が多く相続税が多額になる心配がある場合に効果的なのが生前贈与です。1年につき110万円までは贈与税の課税なしで子や孫に資産を譲ることができます。例えば子一人に対し夫婦なら1年に220万円贈与できる計算になります。



お金に関する気がかりの一つが相続。生涯をかけて築いた資産が、思わぬ争いのもととなってしまうのは誰もが望まないことでしょう。年齢に関係なく万が一の場合に備え、相続に関係する全員が「譲る」「受け継ぐ」といった意思を明確にしておくのと良いでしょう。どんな資産をどのように管理しているのかを記録しておくことも忘れずに。

## 2. 遺言をつくっておく

相続は、資産を託す人の意思によってその形が決まります。争いを避けるためにも遺書を作成し、希望を明確におきましょう。司法書士などの専門家のサポートを受け法的に有効な遺書にしておくことより安心です。

memo

石川県市町村職員共済組合でも、「生活年金プラン」など多彩な保険プランを用意しています。日々の暮らしや将来への備えとしてぜひ活用してください。

生活年金プラン

新・医療保障保険

三大疾病支援制度

ほか

詳しくは  
(有)石川共済サービス Tel.263-9430  
までお問合せください。

## まとめ

人に相談しにくいなど、どこか避けるイメージのあるお金の話。しかし、生活スタイルや価値観がめまぐるしく変わっていくこれからの時代、お金との上手なおつきあい術は、自分らしく、心地よく人生を送るための基本スキルになるはず。まだまだ続くことが予想されるお家時間を利用して、家族やパートナーとお金の話をしてみてください。あまり深刻になりすぎず、お茶やお酒を片手に始めるのもいいですね。

ムダな支出をなくそう

働くお金をつこう

家族でお金の話をしよう

取材協力  
飯田さんが所属するのは...



税理士法人木村経営ブレン  
金沢市駅西新町3-4-33  
http://www.kkb-jp.com